

一冊のノート

物忘れが激しくなってきた祖母に  
対する主人公の気持ちをを通して  
家族について考えよう。

数学の問題集が押入れの新聞入れの  
中から出てきた時に「じっかりしてよ」  
と言っている時の主人公はどんな気持ち  
だろうか。

腹が立つ  
イライラする  
嫌な気持ち

買い物から帰ってきた祖母に「何の  
ためにふらふら外を歩いている  
んだよ」と問い詰めている時の主人公は  
どんな気持ちなのだろうか。

恥ずかしい  
みっともない  
友達から  
みすぼらしい  
笑われる

嫌だ  
格好が悪い

宿泊学習のために祖母に頼んだ  
品物がい忘れられていて隆と  
買い物に出かけた主人公はどんな  
事を考えていただろうか。

腹が立つ  
言い逃れ  
できない

父の話聞いて主人公が何も言えな  
くなったのはなぜだろうか。

祖母 一生懸命  
良かれと思って

自分 任せつきり  
仕方がない  
見守る

一冊のノートを読んで主人公は  
どんなことを考えただろうか。

祖母 一生懸命  
もどかしさ  
不安  
孫の面倒を見たい  
家族との幸せ  
感謝

苦しさ

「二冊のノート」を読み家族の一員と  
して生活することについて考えた  
ことを書きましよう。

感謝

父母・祖父母

大切にしたい  
家族のために

